



令和 4 年 11 月 18 日  
午前・午後 9 時 30 分 受領

令和 4 年 11 月 17 日

南山城村議会議長 久保憲司様

南山城村議会議員 徳谷契次

一般質問通告書

次のとおり通告します。

1. 高齢者施設について	<p>先の令和4年度第2回定例会において、「高齢者福祉施設等整備予定地進入路整備事業」として、調査設計費25,850千円は可決され、鋭意取り組みがなされていると思う。</p> <p>1. 土地利用の有効面から考える時、南北は約50メートル余り、東西は約80メートル。この限られた範囲で、一定の環境を保ちながら持続可能な施設の建立ができる運営事業者を呼び込むことができるのか。さらに用地費を含めてのことになる訳であるが、どうか。</p> <p>2. 介護保険料の今後の上昇、進出事業者と村の社協のサービス事業との関係、入居費用などについて不安な声が寄せられている。</p> <p>より丁寧な説明がなされるべきものと解するが、今後における議会への説明などはどの様に考えているのか。</p> <p>3. 京都府との協議は今年度中に行うとされた。委託費の予算計上前より協議は進められていたのかの有無は報告などされていないが、現在の府との協議の進展状況はどうか。</p> <p>以上3点、高齢者施設の取り組みについて質問致します</p>	村長
2. 次世代への村づくりについて	<p>先の第3回定例会において、村所有の宅地を無償払い下げして住宅建設。あるいは、空地の宅地に住宅の建築の要請をするなどして、人口減少を食い止めてはどうかと提案した。</p> <p>答弁は、医療費の無料化、村タクの実施、高校の通学エリア拡大まで持ち出していたの答弁であった。</p> <p>決算資料によると、令和2年度8人、昨年の3年度は2人が村内新生児の出生数である。</p> <p>このような中で、答弁書による取り組みでの人口増に対する実効性は疑問がある。</p>	村長

	<p>次世代に繋ぐ村づくりを現状の施策で十分と考えているのか、どうか、質問します。</p>	
3.子育て応援について	<p>先の議会の決算において、コロナ禍、ウクライナへのロシア軍の侵攻などの要素により生活物資が上昇し、家庭内支出が増加する中で、保育園内での交換用オムツの無償提供、一斉処分をする自治体が京都府内で増えていること。</p> <p>多くの費用を要するとも考えられないことから、村も現行の予備オムツの持参・園児の持ち帰りを園内でのオムツの無償提供、一括処分することの提案を行った。</p> <p>答弁は検討するとされました。</p> <p>検討の推移、実現についてはどうなのか、質問します。</p>	村 長